

# 琉球大学学術リポジトリ

宮古諸島におけるヤエヤマオオコウモリ *Pteropus dasymallus yayeyamae* Kuroda, 1933 (翼手目：オオコウモリ科) の分布について

|       |                                                                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者: 琉球大学資料館 (風樹館)<br>公開日: 2018-02-22<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 大沢, 啓子, 大沢, 夕志, Osawa, Keiko, Osawa, Yushi<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.24564/0002008871">https://doi.org/10.24564/0002008871</a>                                                                     |

## 宮古諸島におけるヤエヤマオオコウモリ *Pteropus dasymallus yayeyamae* Kuroda, 1933 (翼手目: オオコウモリ科) の分布について

大沢啓子・大沢夕志

埼玉県川越市 (fruitbat@mwcc.biglobe.ne.jp)

**要旨.** 2012 年 10 月に、宮古島、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島におけるヤエヤマオオコウモリ *Pteropus dasymallus yayeyamae* の生息状況を調査した。これまで記録のない池間島、大神島、下地島を含む 6 島すべてで、ペリットの発見もしくは個体の直接観察によってオオコウモリの生息を確認することができた。

### はじめに

宮古島とその周辺の島（多良間島及び水納島を除く宮古諸島）におけるヤエヤマオオコウモリ *Pteropus dasymallus yayeyamae* の分布に関しては、前田・丸山（1993）が宮古島において初めて記録し、その後、岡（1994）による伊良部島、橋本（1997）による来間島の記録がある。また、沖縄県（1996）においては伊良部島及び宮古島、沖縄県（2005）においては宮古諸島との記載があるが、近年の情報はほとんどない。筆者らは、2012 年 10 月に、これまで記録のない池間島、大神島、下地島を含む 6 島すべてで、オオコウモリ類が果実等を採餌した際に吐き出されるペリットの発見もしくは個体の直接観察によってオオコウモリの生息を確認したのでその結果を報告する。

### 調査方法

2012 年 10 月 16–24 日に、宮古島、池間島、大神島、来間島、伊良部島、下地島の 6 島を車もしくは徒歩でまわり、昼間はオオコウモリが餌とする樹木の下でペリットの有無を調査し、夜間はペリットの発見場所を中心にオオコウモリの飛来の有無を調査した。調査結果は、標準地域メッシュ・システムの基準地域メッシュ（3 次メッシュ）で整理した。

なお、限られた期間内にできるだけ広い範囲を調査することを目的としたので、昼間の調査では、いったんペリットを発見した後は、1–2km は特に探索をせずに移動した。調査期間中に対象とした 6 島の全 261 メッシュ中 171 メ

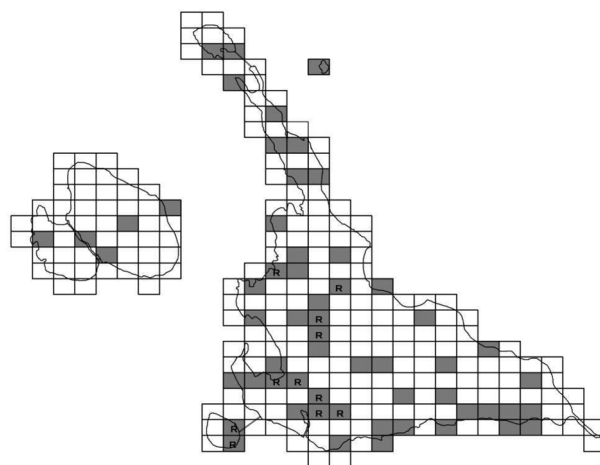


図 1. クビワオオコウモリ分布調査を行った 3 次メッシュごとのペリット発見場所及び直接観察場所。網掛けはペリット発見場所を、R は直接個体が観察された場所を示す。

Fig. 1. Map in the Basic Grid Square (Third Area Partition) showing study area and where ejecta pellets and/or living individual(s) of *Pteropus dasymallus yayeyamae* were observed. Shaded grids and grids with “R” indicate where ejecta pellets and individuals were observed, respectively.

ッシュについて車もしくは徒歩により調査を行ったが、前記の理由で各メッシュ内をそれぞれくまなく調査したわけではない。

### 調査結果

ペリットの発見及び個体の直接観察ができた地点を図 1 に示した。

6 島の計 58 メッシュにおいて、オオコウモリのペリットを確認した。街路や公園に植栽されているテリハボク *Calophyllum inophyllum* やモモタマナ *Terminalia catappa* の果実のペリットが多く、このほか、タコノキ *Pandanus boninensis*, アカギ *Bischofia javanica*, ガジュマル *Ficus microcarpa*, アコウ *Ficus superba*, ホルトノキ *Elaeocarpus sylvestris* などの果実を食べたペリットが見つかった（図 2）。

また、宮古島と来間島の計 11 メッシュでは



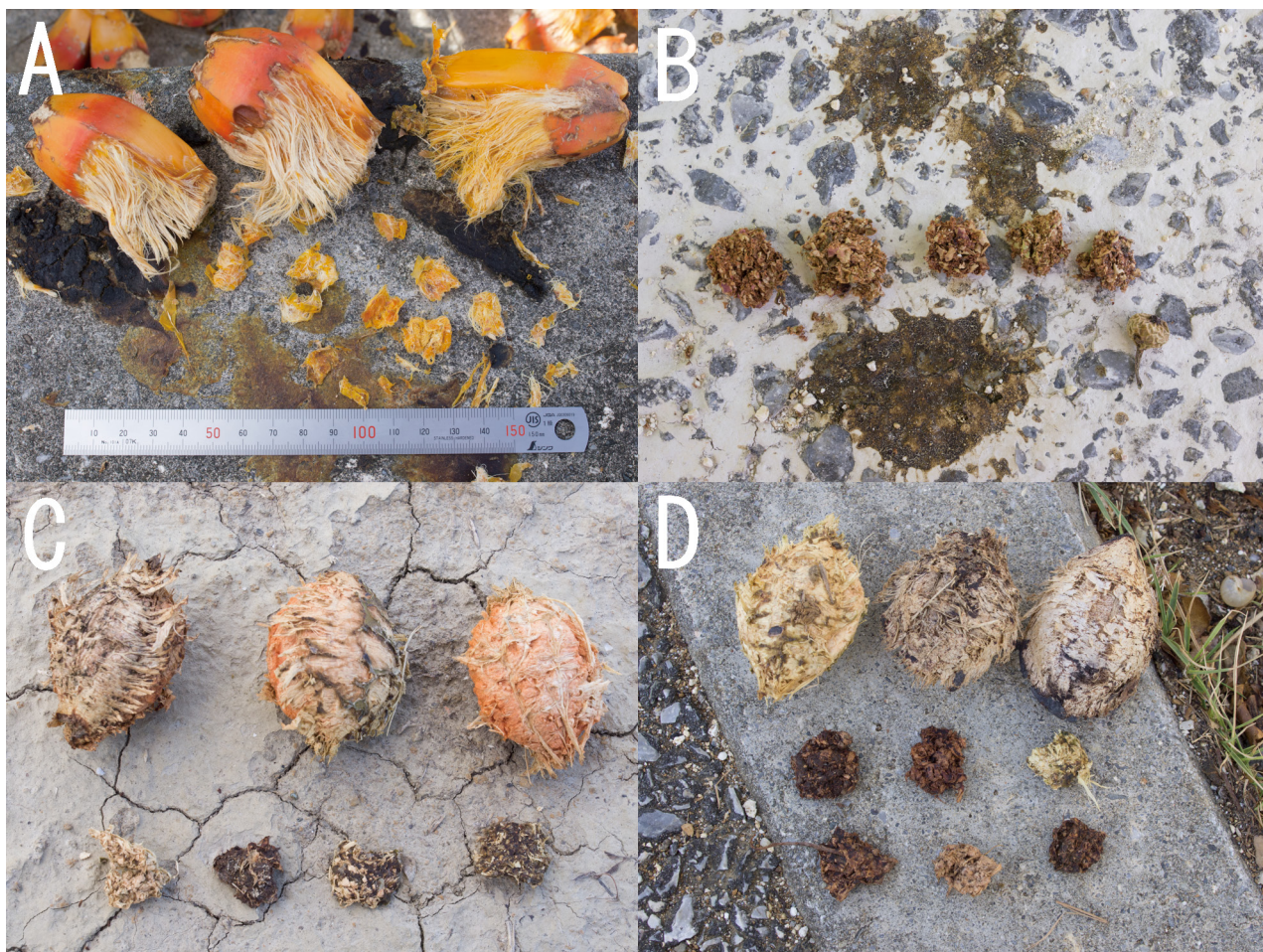


図 2. ヤエヤマオコウモリのペリットとフン、食痕. A, タコノキのペリットと食痕 (宮古島, 2012.10.23 撮影); B, アコウのペリットとフン (池間島, 2012.10.21 撮影); C, モモタマナのペリットと食痕 (大神島, 2012.10.22 撮影); D, モモタマナのペリットと食痕 (下地島, 2012.10.20 撮影).

Fig. 2. Ejecta pellets, feces and chewed fruits discarded by *Pteropus dasymallus yayeyamae*. A, pellets and chewed *Pandanus boninensis* fruit (photographed on Miyako-jima Island on October 23, 2012); B, pellets and feces of *Ficus superba* fruit (photographed on Ikema-jima Island on October 21, 2012); C, pellets and chewed *Terminalia catappa* fruit (photographed on Ohgami-jima Island on October 22, 2012); D, pellets and chewed *Terminalia catappa* fruit (photo taken on Shimoji-shima Island on October 20, 2012).

直接オコウモリを観察することができた (図 3)。

公園に植栽されているオウギバショウ *Ravenala madagascariensis* の仏焰苞に頭部を入れる姿が昼間から頻繁に観察できた。苞葉の中の液体を舐めていたものと思われる。このほか、夜間テリハボクやモモタマナ、アカギの果実を採餌する姿が観察できた。

宮古島市熱帯植物園では同時に観察できた個体数は最大で 3 頭であったが、植物園内の各所で複数の個体が観察できたため、さらに多くの個体がいると推定された。また盛加越公園では 10 月 22 日に同時に観察できた個体数は最大で 5 頭であったが、公園内に散在して複数の個

体が観察できたためさらに多くの個体が飛来していると思われる。

#### 謝辞

琉球大学の中本敦博士には、助言を頂くと共に貴重な資料を頂いた。また、橋本信宏氏にも貴重な資料を頂いた。この場をお借りして深く感謝申し上げる。

#### 引用文献

橋本信宏, 1997. 東アジア地域におけるオコウモリの生態と農業におよぼす影響. 東京





図 3. 観察されたヤエヤマオコウモリ. A, オウギバショウに飛来 (宮古島, 2012.10.21 撮影); B, モモタマナに飛来 (来間島, 2012.10.19 撮影).

Fig. 3. Direct observation of *Pteropus dasymallus yayeyamae*. A, an individual hanging from *Ravenala madagascariensis* (photographed on Miyako-jima Island on October 21, 2012); B, an individual eating *Terminalia catappa* fruit (photo taken on Kurima-jima Island on October 19, 2012).

農業大学修士論文.

前田喜四雄・丸山勝彦, 1993. ヤエヤマオコウモリの宮古島からの記録. 沖縄生物学会誌. (31): 63–65.

岡徹, 1994. コウモリ 2 種を伊良部島から記録. 沖縄生物教育研究会誌. (26): 9–11.

沖縄県, 1996. 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータおきなわ—. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.

沖縄県, 2005. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編 レッドデータおきなわ. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.

### Distribution of the Yaeyama flying-fox *Pteropus dasymallus yayeyamae* Kuroda, 1933 (Chiroptera: Pteropodidae) on the Miyako Islands

Keiko Osawa & Yushi Osawa  
Kawagoe City, Saitama, Japan

**Abstract.** Distribution of the Yaeyama flying-fox, *Pteropus dasymallus yayeyamae*, was surveyed in October 2012 on the Miyako Islands (Miyako-jima, Ikema-jima, Ohgami-jima, Kurima-jima, Irabu-jima and Shimoji-shima). It was confirmed that *P. d. yayeyamae* inhabits all six islands including Ikema-jima, Ohgami-jima and Shimoji-shima, which all had no previous record of either direct observation or ejecta pellet of *P. d. yayeyamae*.

投稿日: 2013 年 4 月 14 日

受理日: 2013 年 5 月 14 日

発行日: 2013 年 5 月 26 日